

アクセラ／プレマシー

カーエアコン**交換用**フィルタ

24-003D

交換手順書



適用車種

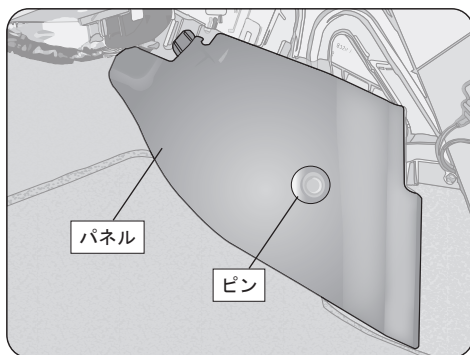
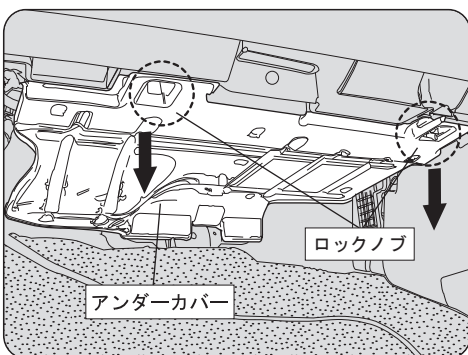
メーカー	車名	年式	車種型式
MAZDA	アクセラ(オプション)	平成15年(2003年)10月～平成21年(2009年)6月	BK#P
MAZDA	ビアンテ(オプション)	平成20年(2008年)7月～平成30年(2018年)3月	CC3FW, CCE#W, CCFW
MAZDA	プレマシー(オプション)	平成17年(2005年)2月～平成30年(2018年)3月	CR#W, CWE#W, CWFFW

(注)適用車種は上記の他にもございますので詳細は適用表等を参照してください。

作業を行う前の確認！

- ◆ 交換作業を行う際には、必ずエアコン、エンジンを停止させてから行ってください。
- ◆ 交換方法等で不明な点は、車の取り扱い説明書を確認してください。(オプション仕様車は除く)
- ◆ 本手順書は、アクセラ、プレマシー(CR#W)を参考例として取り上げています。

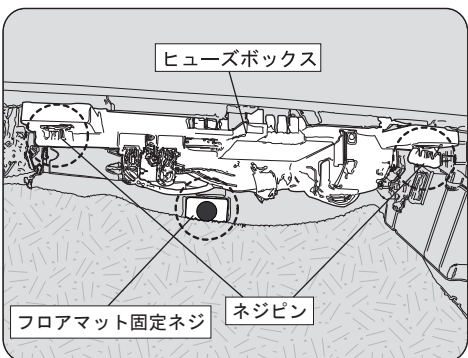
1 アンダーカバー(全車)とサイドパネルの取り外し(アクセラのみ)



グローブボックスの下をのぞくと上図のような黒色のアンダーカバーが付いておりますので、左右のロックノブを外して下に引き、アンダーカバーを外してください。

グローブボックス右下奥のパネル(ピン1箇所)を外します。

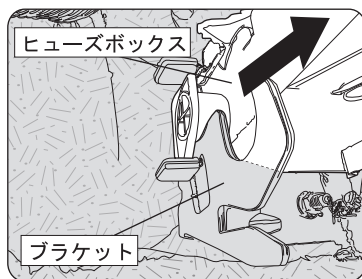
2 ヒューズボックスの移動(アクセラのみ)



ネジピン(左右各1箇所)を外します。ネジピンは下に開放されるだけで完全には取り外せません。

またヒューズボックスの奥に付いているブラケットの下部分に付いているフロアマットもブラケットから取り外しておきます。フロアマットはネジで留められておりますが、ネジをフロアマットから外せませんので、ネジを付けたままブラケットからフロアマットを取り外します。

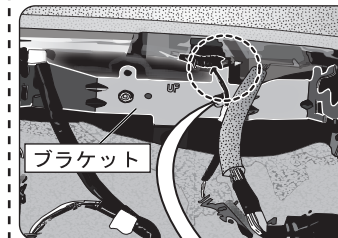
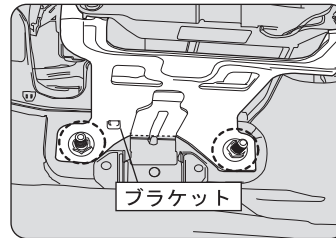
☆ワンポイント☆



<ヒューズボックス左側>
ヒューズボックスは上図のようにブラケットで左右固定されております。ヒューズボックスを手前に引いて開放してください。左右均等にヒューズボックスを前後に調整しながら外してください。

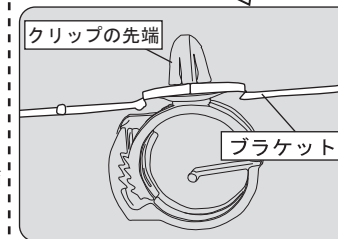
ヒューズボックスは助手席の足元の辺りまで持って来る事が出来ますが、ケーブルが繋がったままでするので完全に外す事は出来ません。取り扱いには十分ご注意ください。

3 ブラケットの取り外し



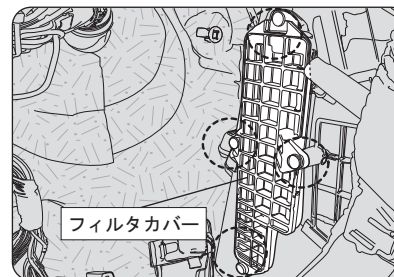
<お車がアクセラの場合>
アクセラの場合はヒューズボックスを移動してもブラケットとまわりのケーブルがひとつのクリップでくっついていて、クリップを外さないとブラケットを取り外す事が出来ないようになっております。12mmのナット(2箇所)を外した後、クリップを外すようにしてください。

アンダーカバーの後ろに隠れているブラケットの12mmのナット(2箇所)を外して、ブラケットを外します。ソケットレンチで外す際は深めの物を使用してください。ナットを外してもブラケットは完全には外れません。なお、このブラケットはお車の機能を管轄する箱を搭載していますので慎重に作業を進めながらブラケットを取り外してください。ブラケットに付いているケーブルのクリップ(2箇所)を外すと、ブラケットを多少ですが動きやすくする事が出来ます。



下の図はクリップからケーブルを外してブラケットを上から見ただけです。クリップの先端、ブラケットにくっついている部分をラジオペンチ等でつまむとブラケットからクリップを外す事が出来ます。こちらもソケットレンチは深めの物を、またケーブル等が非常に込み合っておりますので細心の注意が必要です。

4 フィルタカバーの取り外し

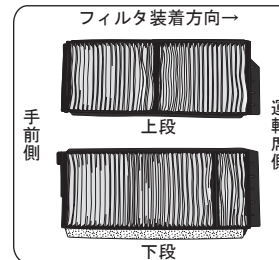
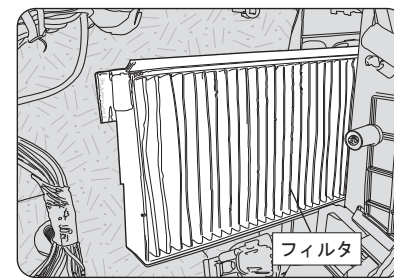


ブラケットを外した右奥にフィルタカバーが取り付けられておりますので、ネジ(4箇所)を外してフィルタカバーを取り外します。

なお、フィルタカバーのまわりは配線等が込み合っておりますので、損傷しませんよう慎重に作業を進めてください。

作業するスペースが非常に狭いので、スタビドライバー等柄の短いドライバーを使用してください。

5 フィルタの交換



古いフィルタを取り出して、新しいフィルタと交換します。上下で二つありますので、上のフィルタから取り出します。

上下でフィルタの形状が若干異なりますので、フィルタを取り出す際にフィルタの位置を確認しておきましょう。

☆ワンポイント☆

フィルタの表と裏を間違えない様にプロケースにセットしてください。

ご注意

- 交換後に著しく風量が低下した場合は、故障につながる恐れがありますのでご使用を止め、販売店にご相談ください。

本手順書の全部又は一部を無断で転写、転載、複製することを禁じます。

20220829